

特定外来生物（アカゲザル）防除実施計画の主な改定内容

1. 防除を行う期間の延長

平成19年度の生息状況調査の結果及び捕獲の進捗状況から、現計画期間内（平成21年3月31日まで）での集中防除区域における全頭捕獲の目標達成が困難であり、目標の達成を図るため、計画の終期を平成24年3月31日まで3年間延長する。

2. 生息状況等調査結果の追加

平成19年度の生息状況調査に基づき、アカゲザル等の推定生息数を最新の数字に変更するとともに、群を確定することができた2群についての記述を追加する。

- ・群について：「ミヤコ群」と「オタキ群」の2群の他にこれらの群に属さない不明集団があるため、2群+ α とする。
- ・推定生息数について：「ミヤコ群」と「オタキ群」で500～600頭、不明集団を考慮すると600～700頭になる。（これらの中間値を取り、平成19年度末の推定生息数を600頭前後とした。）

3. その他の変更点

- ① 平成20年度から開始した「ニホンザル交雑モニタリング調査」の内容を追加。
- ② 「アカゲザル等防除連絡会」の設置に伴う、記述の変更
- ③ 捕獲状況及び被害状況についての時点修正